防災ラリー

所内に設置したポイントをグループで回り、ポイントごとに設けた、災害発生時や災害後に必要なことを疑似体験する課題を解決することで、防災に必要な知識を身に付け、行動力や判断力を養います。

所内での活動

場所	所内全域	対象	小学生以上
所要時間	おおむね２時間 （実施プログラムによる）	人数	１グループ６人程度 （６人以上の指導者）
時期	全シーズン	天候	小雨可 （荒天時は相談）
指導	要相談	提出書類	なし
経費	なし		

活動の教育的効果	（１）各ポイントをどのように回るかをグループで考えることや課題をグループで解決することにより行動力や判断力を養う。 （２）グループで活動する過程で生じる問題を乗り越えることで、達成感を感じたり、仲間と協力することの大切さを知ったりできる。
準備するもの	団体が準備するもの
	□個人：筆記用具、水筒、帽子、タオル、時計、雨具、軍手、靴底がきれいな靴もしくは靴カバー □団体：救急バッグ、得点記録表・所内地図（各班１部）、実施要領
	交流の家が貸し出すもの
	□各プログラムで必要な物品（備考欄を参照）
備考	□各プログラムの実施要領、問題・解答用紙等はホームページからダウンロード可能。 □プログラムの種類と貸出可能な物品 ・みんなで脱出！：30m程度のロープ（すずらんテープ）数本 ・火消し隊出動！：ストップウォッチ、的、水消火器 ・防災クイズ：○×クイズ ・土のうをつくろう：スコップ、土のう袋 ・備蓄品カード合わせ：A4 サイズの備蓄品カード ・ケガ人救助：毛布、竹ざお

活動の流れ

防災ラリー

所内での活動

	時　間	項　目	内　　容	備　　考
活動内容（手順）	事前	グループ編成とミーティング	□事前にグループ編成を行う。 □目的や活動方法に応じたグループミーティングを行う。 例：・回る順番を決める ・グループの約束や目標を決める	事前にグループ数の報告
		準備	□各ポイントに課題を設置する。	
	１０分	活動方法の説明と安全指導	□軽くウォーミングアップを行う。 □得点表・解答用紙等を各班に配付する。 □活動の方法を説明する。（実施要領参照） □安全に関する注意を行う。	
	90～120 分	活動	□（事前ミーティングを行わない場合）回る順序等、行動計画を話し合う。 □一斉、または時間差でスタートする。	各ポイントには指導者が付き、説明及び採点
	１０分	集合 片付け	□グループメンバー全員を確認する。 □得点を集計する。 □目的や活動方法に応じたグループミーティングを行う。 例：・約束は守れたか ・目標が達成できた（できなかった）理由は何か □貸出物品を返却する。	
想定されるリスク	□転倒、木の枝等による傷　等 □他団体の活動への支障			
指導のバリエーション	□活動の目的に応じて、活動後のミーティングの視点を設定。 例：他者理解→みんなの意見をとりまとめたのは誰ですか。 積極的に意見を出したのは誰ですか。 元気がないときに仲間を励ましたのは誰ですか。　等 □活動後、防災に関する講義を行う　例：正常性バイアスの説明　等 □団体の年齢や活動時間に応じて実施するプログラムの数を変更可。			